



日本ボーイスカウト 愛知連盟 名古屋第67団

BOY SCOUTS Nagoya Group 67

# 名古屋67団



ふくろう通信 35号  
H19年5月1日発行

## 名古屋67団の状況



団委員長 波多野俊彦

みなさまには、名古屋67団へのご支援ありがとうございます。名古屋67団の団委員長として、現在の団についてお話しします。いま名古屋67団の隊の活動は、以前にも増して活発に展開されています。最近では、ビーバー隊のピクニック、クッキング、工作、カブ隊は舎営やツリクライミング、ボーイ隊はクロスカントリースキーや充実の野外料理に42kmハイク、ベンチャー隊はハンドメイドのナイフ作りのプロジェクトなど各隊が競うように毎月のプログラムを展開しています。このためスカウトの出席率は良く、スカウトが胸につける進歩章もどんどん増え、地区内でも突出する取得数を誇っています。しかし残念ながらスカウト数については微増しているものの満足するものではありません。そこでビーバー隊を10名(現在6名)カブ隊を20名(現在10名)をめざし3年計画で増やそうと組織拡張団委員をはじめ新聞委員ほかの皆さんと協力して募集プロジェクトを始めています。団マーク入りのクリアファイルの作成はそのうちのひとつです。各隊のリーダーが計画する集会をより充実させ、スカウトに提供できるように、スカウト数を数年前の数に戻したいと考えています。みなさんのお近くのビーバー、カブ年令のスカウトを紹介して下さいようよろしくお願いします。

H18年12月 Xマス会時 五反城教会お御堂前にて



## 1枚の写真



CS隊長 加藤千明

懐かしい写真が1枚でできた。

セピア色の写真の中に、6人の少年達が楽しそうに微笑んでいる。広い芝生の上で寝転がる者、肩を組んで笑っている者、ふざけてへんてこなポーズをとっている者…。集合写真の真ん中で指先に包帯を巻いて笑っている少年がいる。昼食準備の時に包丁で指先を少し切ってしまう気落ちしている少年を班長は「心配するな、これで大丈夫」と言って、さっと手当てをしてくれた。昼食後の休憩時間、記念写真を撮る時に班長は「おい、一番真ん中で笑え」と少年を座らせたのである。班長が頼もしくやさしい兄貴に感じた記念の写真。あの班長は今どうしているんだろな…。加藤少年、養老公園で初めての班キャンプの思い出です。スカウト諸君、楽しい事や辛い事は大人になっても忘れません。大いにスカウト活動を楽しみ、君達のアルバムを増やして行って下さい。

## 最後のオーバー ナイトハイク



BSスカウト 山崎嵩朗

4月25日、僕はボーイ隊最後のオーバーナイトハイクに参加した。僕は行きの車の中で「今年のコースはどのような所を歩くのだろうか？どのくらい大変なんだろう？」など、色々な事を考えていた。だいたい距離や大変さは想像できたけれど、とても緊張していた。スタート地点の大垣城では、雨が降っていて、作図作業が大変だった。第1ポイントの西大垣駅で少し空が白くなってきたなと思っていたら、すぐに明るくなった。僕が二年目の時までは夜中だったオーバーナイトハイクも、昼になってしまったからだ。歩いていると、すぐに一時間が過ぎ二時間が過ぎとても早く時間が過ぎて行った。そして、第8チェックポイントまではなんとか着くことができた。しかし、そこからは疲労がのしかかってきた。ゴール前の木曾川に架かる最後の橋はとても長く感じられた。でも、ゴールの祖父江砂丘に着いたときにはもう涼しくなっていた。僕は、ボーイ隊でのオーバーナイトハイクを4回とも最後まで歩いてとてもうれしかった。



「どうぶつえんへピクニックにいったよ！」 BVSスカウト 木村優二



## ビーバー隊の活動



BVS 隊長 葭川雅司

ビーバー隊の隊長の任を授かって早半年以上になります。子供たちと接していつも思うのですが、小学校の先生は大変なんだろうなと、子供たち数人で一緒に活動しているだけでヘトヘトになります。いつも子供たちのパワーにたじたじです。ビーバー隊の活動は、ボーイ隊やカブ隊とは少し違い、スキルを求める活動はいなくていいと思っています。子供たちはみんなが仲良く、明るく、元気に、楽しく活動できればいいなと……………。

(お母さん方も同じく、いつも協力して頂いて本当に助かっています。嬉しいです。) 特に“楽しい”活動ができるように副長たちとプログラムを考えています。今後の活動としては5月によその団との合同隊集会(庄内緑地公園)、ハイキング、潮干狩りなどみんなでワイワイ楽しめるプログラムを予定しています。子供たちの記憶の中にビーバー隊での活動が少しでも残ってくれたらそれだけで嬉しいです。(……………ちなみに私の息子達はビーバー隊の記憶はほとんどありません、トホホ……………)

## オーバーナイト ハイクを終えて



BS 隊長 山崎義和

「粗にして野だが卑ではない」は、第5代国鉄総裁の石田禮助(いしだ れいすけ)が自らを表して、語った言葉として知られています。私は、まさしく67団のボーイスカウトはこうあってほしいと思っています。それぞれの文字には

粗 …………… 粗削り、質素、素朴

野 …………… 野人、勇敢

卑ではない… 権力におもねることなく、正義感があり、卑屈な態度はとらない、思いやり(優しさ)などの言葉当てはまるでしょう。

毎年行なわれる、オーバーナイトハイクは、その片鱗が見られる行事です。県連の通達で、昨年からは夜中のハイクが禁止されたのは残念ですが、今年も、無事に42キロを全員のスカウトが完走しました。雨降る早朝の大垣城をスタートし、濃尾平野を一望する養老公園への登り、尾張三河川の長い橋を渡り、祖父江砂丘へ。約12時間かけてのハイクはスカウトにとっても大変な道程です。途中、疲れの出た下級のスカウトの荷物を班長や次長が持ってあげたり、ペースを落としたりと。スカウトのたくましさや優しさにもいつも感激します。まさしく、粗にして野です。普段の行動でもこのような優しさが、なにげなくできるスカウトになってほしいと思います。



## そり滑り



CS スカウト 大矢祥太

3月24日と25日にぼくたちカブ隊は舎営で万場幼稚園へ行きました。始めにスカウトハウスの近くのスーパーへ行って、夕食の「春の鍋」の食材を買いに行きました。雨の中、重いザックを背負って、万場幼稚園へひたすら歩きました。現地に着いて荷物を整えると、夕食準備に取りかかりました。ぼくたちくまスカウトは火おこし担当でしたが雨なのでじめじめしていてなかなか火はつきませんでした。夜の集いでは、うさぎスカウトは好きな本の紹介、しかスカウトはツリークライミングの感想文を発表、くまスカウトは組別でゲームの進行をしました。次の日ぼくたちの願いがかなうかのように雨が上がりました。待望のそり滑りができるぞ！とワクワクしながら庄内川のていぼうへ向かいました。このそりは、よし川ビーバー隊長に教わってのこぎりやハンマーを使って、木村君といっしょうけんめい作った自信作です。絶対勝つぞ！と心にちかってレースにのぞみました。結果はぼくが一番長く滑る事が出来て大満足でした。一部をのぞいてほとんどのそりがこわれてしまい、残念に思いました。うさぎ、しか、くまそれぞれのスカウトが協力し合って楽しい舎営にすることができました。二組の組長になり、五月の舎営では、なかまから信らいされるようにがんばりたいと思います。そして、いろいろなことにチャレンジしてみたいです。



## 主な行事報告

12月17日(日) クリスマス会(団行事)

1月6～7日 XC スキー(BS 隊)

2月4日(日) GB雪中ハイク(BS隊)

2月18日(日) B-P祭(団行事)

3月25日(日) オーバーナイトハイク(BS隊)

4月8日(日) 復活祭

## 主な年間行事(予定)

5月3～5日 春季野営(BS 隊)

春季舎営(CS 隊)

5月13日(日) 地区合同隊集会(BVS隊)

7月1日(日) 信仰への導き

8月11～15日 夏季野営(BS 隊)

8月12～15日 夏季舎営(CS 隊)

体験入隊、見学などのお問い合わせ

ビーバー隊 : 年長の9月から小学校2年8月まで

カブ 隊 : 小学校2年9月から小学校5年8月まで

団委員長 波多野俊彦 TEL (052)432-1317

E-mail : toshi.hatano@nifty.com

編集からの一言

いつもスカウト活動への御理解・御協力有難う御座います。

活動中のスカウトの写真提供、随時受付中です。

ホームページへの投稿や御意見・御要望いつでも

受け付けてます。よろしくお願ひします。

67団ホームページ・・・「<http://www.nagoya67.com/>」

ふくろう通信 新聞部:野尻、山崎、梶間、葭川、小川、

後藤、加藤、浅井、木村

